



ECOプランのルール



日焼け止め・化粧の禁止

日焼け止めに含まれる化学物質はサンゴ礁の生態系に悪影響を及ぼします。日焼け止めの使用はせずラッシュガード/トレンカ（長袖/長ズボン）を着用し肌の露出を控え、露出してしまう部分へはサンゴに優しい日焼け止めを使用してください。

お化粧も同様に水質に悪影響を及ぼす他、マスクの曇り止めの効果をなくし、器材の浄にも多くの水と洗剤を使用してしまいます。生活用水をすべて地下水に頼っている宮古島の水の保全の為にもお化粧をしないツアーへの参加はご遠慮ください。



サンゴに触らない

知らず知らずのうちにフィンが当たってサンゴを壊してしまわない様に気をつけてください。

サンゴはとても壊れやすく、成長するのに長い年月を要します。

サンゴを踏んだり蹴ったりしてしまうとサンゴが壊れたり、病気にかかったり、死んでしまったりすることがあります。また、サンゴだけでなく人も軽く当たただけでケガをしてしまうので気をつけてください。

水深の浅い所での立ち泳ぎはご遠慮ください。



生物にストレスを与えない

生物を追いかけまわしたり、触らないようにしましょう。これはどんな生物にも大きなストレスを与えます。

また病気を伝染させたり、魚類・哺乳類・無脊椎動物などの保護膜を剥がしてしまったりすることもあります。

見ても触れたり、近寄りすぎないようにしましょう。

生き物と十分な距離をとることにより長く、楽しい時間を過ごせる可能性も高くなります。



餌付け禁止

魚などに餌付けをするとその餌に頼るようになります。また魚は餌をもらえると思うようになりダイバーに対して攻撃的になります。また魚が自然の餌を食べなくなること、サンゴが藻で覆われてしまうこともあります。餌付けされた魚は病気になり、巣を空にして外敵に狙われやすくなったり、藻類を食べる際に誤ってサンゴを捕食するオニヒトデのような生き物の卵も食べています。餌付けによってこうした行動がなくなり、サンゴの捕食者の数が増え、サンゴ礁へのダメージがより大きくなる可能性があると言われています。



ポイ捨て禁止

海にゴミを捨てると海洋生物が死んだり、魚介類が毒されたり、怪我をしたりする可能性があります。

またゴミに含まれる化学物質が海を汚染し、食物連鎖に入り込む可能性もあります。海洋汚染とマイクロプラスチックは、人間の食べ物や飲み水の中からも検出されるため、私たちにとっても危険な存在となります。

船には必要最低限の貴重品類のみお持ちいただき、飛びそうなものや不用品はお車で保管してください。



海に流さない

マリン式のトイレはすべて海に流れ出てしまいます。トイレットペーパーを含む生理用品等は絶対に流さないでください。

使用済みのトイレットペーパー等は備え付けのゴミ箱に捨ててください。

